

地域・保護者の実態	学校教育目標	児童の実態
<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA組織が確立しており、活発に活動している。</li> <li>・青少協を中心に、地域との結びつきが強く、児童の健全育成に向けて取り組んでいる。</li> </ul>	<p>21世紀をたくましく生きる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎やさしく（心情豊かで 思いやりや感謝の気持ちをもつ子）</li> <li>○かしこく（自ら学び、考え、表現する子）</li> <li>○たくましく（心身共に健康で 最後まで頑張る子）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素直で明るく、友だちと仲良くできる子が多い。</li> <li>・語彙力がやや乏しく表現力が弱い面も見られる。</li> </ul>

各教科の重点	学力に関する学校経営方針	道徳教育の重点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な内容の定着を図る。</li> <li>・体験的・問題解決的な学習を充実させ、思考力・判断力・表現力を育成する。</li> <li>・「話す」「聞く」活動の重視と児童相互の学び合い活動を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的内容の定着を図ると共に、習熟・活用・探究型学習を組み込んだ授業づくりを推進し、家庭学習を徹底させ学力の向上を図る。</li> <li>・児童の実態に合わせた学習過程をもとに、一人一人に「できる喜び」「わかる楽しさ」を味わわせ、学習への意欲をもたせる。</li> <li>・指導法の充実・改善に努め、言語活動を豊かにして児童の表現力やコミュニケーション能力を高めると共に、自ら考え、自ら学ぶ児童の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の時間と各教科との関連を重視し、道徳的実践力を育てる。</li> <li>・体験を通して道徳的心情を育成する。</li> <li>・道徳的判断力・規範意識を育成する。</li> </ul>

総合的な学習の時間の重点	生活指導の重点	特別活動の重点	進路指導の重点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題設定力や課題解決力を培う。</li> <li>・人、もの、自然、地域とかかわる活動を通して、学ぶ意欲を高め、学び方を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつの励行と正しい言葉使いを身に付けさせ、基本的な生活習慣の定着を図る。</li> <li>・いじめ等の問題行動の早期発見、早期対応に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主性・実践力のある児童を育成する。</li> <li>・学校の一員として、自覚を高め、よりよい生活を築こうとする態度を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解と自己実現の意欲を促す。</li> <li>・本物や達人と出会う機会を多くもち、人としての生き方を学ぶ場とする。</li> </ul>

学力向上のための指導の重点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の授業のねらいの明確化</li> <li>・基礎的・基本的事項の徹底と個に応じた指導の充実</li> <li>・P（計画）・D（実行）・C（評価）・A（改善）サイクルの充実</li> <li>・習熟・活用・探究型授業を意識した指導の工夫</li> <li>・体験的・問題解決的な学習（活動）の意図的・計画的な実施</li> <li>・指導と評価、支援の一体化</li> </ul>	

本校の授業改善に向けた視点				
I 指導内容・指導方法の工夫	II 教育課程編成の工夫	III 校内研究の活用	IV 評価活動の工夫	V 家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 少人数指導の充実                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数について、習熟度別学習の実施</li> <li>・補充・発展学習の工夫</li> </ul> </li> <li>■ 年2回（夏・冬）の学習教室の実施</li> <li>■ ねらいを明確にした授業の実施</li> <li>■ ピアティーチャー、学生ボランティア、図書館司書、ICT支援員の活用</li> <li>■ 教育ボランティアの積極的導入</li> <li>■ 年間指導計画の見直しと完全実施</li> <li>■ 「東京ベ－シック・ドリル」及び「アプリ版東京ベ－シック・ドリル」の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 朝学習の実施</li> <li>■ 全校朝読書の実施（毎火）</li> <li>■ 授業時数の確保</li> <li>■ 体験的・問題解決的な学習（活動）の重視</li> <li>■ 読書週間の実施（年間2回）</li> <li>■ ぐんぐんタイムの実施「東京ベ－シック・ドリル」及び「アプリ版東京ベ－シック・ドリル」の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 校内研究の充実                     <ul style="list-style-type: none"> <li>「ひとりひとりが安心できる学級集団をめざして」をテーマにQ&amp;Aを用いて、満足度の高い学級集団作りの実践。</li> </ul> </li> <li>■ 若手研修・OJT                     <ul style="list-style-type: none"> <li>年3回のOJT週間と、若手研修の計画・推進</li> </ul> </li> <li>■ 校内研修会                     <ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究をより充実させるための研修や、喫緊の課題に対する研修を年4回実施。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 授業の振り返りの時間の確保（指導と評価と支援の一体化）</li> <li>■ 学校自己評価の実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員アンケートの活用</li> <li>・児童アンケートの活用</li> <li>・保護者・地域アンケートの活用</li> </ul> </li> <li>■ 評価規準の活用と見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 授業改善推進プランの公開</li> <li>■ 家庭学習の定着</li> <li>■ PTA・地域の方による、全学年への読み聞かせ活動</li> <li>■ 教育ボランティアとしての学習支援</li> <li>■ 保護者と連携した校内整備</li> <li>■ 地域行事の参加                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭り</li> <li>・ほっこりコンサート</li> <li>・地域運動会等</li> </ul> </li> </ul>